

地域計画

策定年月日	令和6年4月9日
更新年月日	令和7年6月30日 (第1回)
目標年度	令和14年
市町村名 (市町村コード)	米原市 (252140)
地域名 (地域内農業集落名)	万願寺 (万願寺)

注:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域計画の区域の状況

区域内の農用地等面積(農業上の利用が行われる農用地等の区域)	7.5 ha
① 農業振興地域のうち農用地区域内の農地面積	7.5 ha
② 田の面積	7.5 ha
③ 畑の面積(果樹、茶等を含む)	ha
④ 区域内において、規模縮小などの意向のある農地面積の合計	ha
⑤ 区域内において、今後農業を担う者が引き受ける意向のある農地面積の合計	ha
(参考)区域内における75才以上の農業者の農地面積の合計	ha
うち後継者不在の農業者の農地面積の合計	ha
(備考)	

注1:①については、農業振興地域担当部局と調整の上、記載してください。

2:②及び③については、農業委員会の農地台帳の面積(現況地目)に基づき記載してください。

3:④については、規模縮小又は離農の意向のある農地面積を記載してください。

4:⑤については、区域内に特定することができない場合には、引き受ける意向のあるすべての農地面積を記載の上、備考欄にその旨記載してください。

5:(参考)の区域内における75才以上の農業者の農地面積等については、できる限り記載するように努めてください。

6:「区域内の農用地等面積」に遊休農地が含まれている場合には、備考欄にその面積を記載してください。

(2) 地域農業の現状及び課題

平成の時代に入り、農業の機械化が進んだことから零細農業の多くの農家が離農して大規模経営の時代に移行した。その後においても個人経営の農家の減少は続き、現在では数えるほどの農業経営者によって農地が守られている状況にある。また、一部地域では耕作放棄地が出現しており、持続的に農地が守られていくようにするためには効率的な耕作形態を作る方策を考える必要がある。

(3) 地域における農業の将来の在り方(作物の生産や栽培方法については、必須記載事項)

担い手の効率的な耕作を支援するため、農業組合が中心となって分散錯圖の解消、ならびに土地所有者が中心となって畦畔の除草作業などにあたり、耕作者と土地所有者との協力体制を構築して耕作放棄地の発生を防ぐ。

2 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用に関する目標

(1) 農用地の効率的かつ総合的な利用に関する方針

耕作者の高齢化により、今後においてはさらに耕作者の減少が見込まれることから、農地所有者の関わりは必要不可欠なものと考えられ、畦畔の除草作業を受け持つなどの協力体制の構築により担い手の省力化に寄与する。

(2) 担い手(効率的かつ安定的な経営を営む者)に対する農用地の集積に関する目標

現状の集積率	65 %	将来の目標とする集積率	65 %
--------	------	-------------	------

(3) 農用地の集団化(集約化)に関する目標

担い手に集積・集約化を進め、団地面積の拡大を図る。

3 農業者及び区域内の関係者が2の目標を達成するためとるべき必要な措置

(1)農用地の集積、集団化の取組
農業組合役員を中心に、新たな耕作放棄地が発生しないように農地中間管理機構や担い手との交渉にあたる。 新たな農地貸付希望者には、農地中間管理機構を通じて担い手を確保する。
(2)農地中間管理機構の活用方法
地域の農地所有者は、原則として農地中間管理機構に貸し付ける。
(3)基盤整備事業への取組
農地耕作条件改善事業等を行い、農地の保全を図る。
(4)多様な経営体の確保・育成の取組
小規模農業者でも現耕作者の意向を踏まえつつ担い手への集積・集約を図る。
(5)農業協同組合等の農業支援サービス事業体等への農作業委託の取組
無し

以下任意記載事項(地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組内容を記載してください)

<input type="checkbox"/> ①鳥獣被害防止対策	<input type="checkbox"/> ②有機・減農薬・減肥料	<input type="checkbox"/> ③スマート農業	<input type="checkbox"/> ④輸出	<input type="checkbox"/> ⑤果樹等
<input type="checkbox"/> ⑥燃料・資源作物等	<input checked="" type="checkbox"/> ⑦保全・管理等	<input type="checkbox"/> ⑧農業用施設	<input type="checkbox"/> ⑨その他	

【選択した上記の取組内容】

土地所有者が中心となって畦畔の除草作業などにあたり、耕作者と土地所有者との協力体制を構築している。

4 地域内の農業を担う者一覧(目標地図に位置付ける者)

属性	農業を担う者 (氏名・名称)	現状			10年後 (目標年度:令和 14 年度)				
		経営作目等	経営面積	作業受託面積	経営作目等	経営面積	作業受託面積	目標地図上の表示	備考
		水稻等	1.6 ha	ha	水稻等	1.6 ha	ha		
		水稻等	1.7 ha	ha	水稻等	1.7 ha	ha		
		水稻等	0.9 ha	ha	水稻等	0.9 ha	ha		
		水稻等	0.8 ha	ha	水稻等	0.8 ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
計	0経営体		5 ha	0 ha		5 ha	0 ha		

注1:「属性」欄には、認定農業は「認農」、認定新規就農者は「認就」、法人化を行うことが確実であると市町村が判断する集落営農は「集」、基本構想水準到達者は「到達」、農業協同組合は「農協」、農業支援サービス事業体(農協を除く)は「サ」、上記に該当しない農用地等を継続的に利用する者は「利用者」の属性を記載してください。

2:「経営面積」「作業受託面積」欄には、地域計画の対象地域内における農業を担う者の経営面積、作業受託面積を記載してください。

3:農業を担う者に位置付ける場合は、できる限りその者から同意を得ていること。

4:作業受託面積には、基幹3作業の実面積を記載してください。なお特定農作業受託面積は、作業受託面積に含めず、経営面積に含めてください。

5:備考欄には、農業を担う者として位置付けられた者に不測の事態に備えて、代わりに利用する者を記載するよう努めてください。